

褐色細胞腫・パラガングリオーマに対する MIBGシンチグラフィ、全身MRI検査を受けた 患者さんへ研究協力のお願について

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2019年8月～2022年1月に当院で褐色細胞腫・パラガングリオーマに対して、MIBGシンチグラフィ、全身MRI検査のいずれかまたは両者を実施された方

2. 研究の概要

研究課題名

全身MRI検査とMIBGシンチグラフィを受けた褐色細胞腫・パラガングリオーマ患者の画像比較研究

研究期間 承認日 2023年 月 日 ～ 2024年3月31日

目標数 18例

褐色細胞腫・パラガングリオーマ (PPGL) はカテコラミン産生腫瘍で、カテコラミン類似物質である meta-iodobenzylguanidine (MIBG) を取り込む性質があります。これを利用して MIBG に放射性同位元素 (I-123 や I-131) を標識した、I-123MIBG や I-131MIBG を用いて診断や治療を行っています。一方、悪性腫瘍の診断に全身 MRI 検査が有用であることが近年多数報告されていますが、PPGL に適用された報告は少ないのが現状です。本研究では I-131MIBG 治療の対象となった PPGL 患者さんについて、MIBG シンチグラフィと全身 MRI 検査の既存情報・画像を用いて、その関連性や有用性について後方視的に調査を行います。

3. 研究の目的・方法について

この研究では全身MRI検査とMIBGシンチグラフィのデータを用いて、褐色細胞腫・パラガングリオーマの診断能の比較検討を行います。各画像の比較研究から得られた結果は、患者さんの残存・再発病変の有無を判断する資料となります。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療の際に得た情報を使用します。

情報：性別、検査時・治療時の年齢、病歴(治療後の経過を含む)、血液検査結果、画像情報

5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された情報を外部へ提供することはありませんが、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。

6. プライバシーの保護について

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

7. 研究組織

(1) 金沢大学における研究実施体制

研究責任者 附属病院核医学診療科 森 博史
研究分担者 附属病院核医学診療科 若林 大志

(2) 共同研究機関と研究責任者

なし

(3) 研究に関する業務の委託

なし

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は大学の運営費を用いて行われます。また、この研究の研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は、金沢大学の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

9. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2024年3月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

研究責任者 金沢大学附属病院核医学診療科 森 博史
相談窓口担当者 金沢大学附属病院核医学診療科 森 博史
住所 〒920-8641 金沢市宝町13番1号
電話 076-265-2333